

名簿貼付欄	状態	状態0	状態1	状態2	状態3	状態4	状態5	状態6										
【 】年【 】組	外出状況	外出できている			外出できていない													
1	登校状況	毎日登校できている			週1~2日欠席	週3日以上欠席	登校できていない											
2	状況の詳細	SOSサイン (※1) ・身体の不調を訴える ・いつも眠そうである ・やる気がない ・友達とのトラブルが多い ・学習が遅れている ・ルールを守らない など <small>五十嵐哲也ら編著『学校で気になる子どものサイン』より</small>			・遅刻や早退が週半分以上ある。 ・保健室や別室をしばしば利用している。	・保健室や別室を週半分以上利用している。	・学校以外の場所(教育支援センター・フリースクール等)には定期的に通うことができている。	・学校以外の場所(教育支援センター・フリースクール等)へ定期的に通うことは難しいが、外出は比較的自由にできている。	・家では落ち着いた生活ができている。 ・家族と関わることができる。	・家ではほとんど自室から出ない。 ・家族と関わることができていない。 ・心理的に不安定で、生活リズムの乱れも大きい。								
3		SOSサインの有無を確認																
4		SOSサインなし			SOSサインあり													
5		SOSの要因 (3つの観点から) <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> 心理面 「学力・学習」「情緒」「社交性」 「集団行動」「自己有用感」 「自己肯定感」「関心」「意欲」 「過去の経験」 </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%;"> 身体・健康面 「睡眠」「食事」「運動」 「疾患」「体調不良」 「特別な教育的ニーズ」 </div> </div> 社会・環境面 「児童生徒間の関係」「教職員との関係」「学校生活」「家族関係」 「家庭背景」「地域での人間関係」																
6					SOSの要因を3つの観点から検討													
7					どの観点から対応を始めるか検討			心理面の対応から	社会・環境面の対応から	身体・健康面の対応から								
8					優先的に対応する子供の選定と対応策の検討 (例) <input type="checkbox"/> 観察・記録 <input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 教育相談 <input type="checkbox"/> 声掛け <input type="checkbox"/> 仲間づくりを意識した取組 <input type="checkbox"/> 安心できる場所の提供 <input type="checkbox"/> SC,SSWとの連携 <input type="checkbox"/> 支援チームの発足、チーム会議 <input type="checkbox"/> 相談機関紹介 【子供の素因】 発達の遅れや偏り 不安が強く過敏(HSP) 健康上で配慮が必要・精神疾患 【環境因子】 ヤングケアラー 一人親家庭・両親が不和 学級崩壊・小規模校・担任との関係 課題の負担 <small>小柳憲司著『不登校の子どもを支える』より</small>			対応記入欄(いつ・だれが・なにを) 【 】への対応 ☆いつ	【 】への対応 ☆いつ	【 】への対応 ☆いつ	<input type="checkbox"/> 安心して登校できるように、電話等で声掛けをする。 <input type="checkbox"/> 病欠欠席の連絡を受けたら、病状や医療機関の受診状況、その日の過ごし方を尋ねるなどして子供の様子を把握する。 <input type="checkbox"/> 子供の様子を学年主任、教育相談担当、管理職等と情報共有する。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて支援チーム会議を開催する。	<input type="checkbox"/> 子供に声を掛け、じっくりと寄り添う。 <input type="checkbox"/> 保護者に、子供の様子が心配であることを伝え、家庭での様子を聞く。 <input type="checkbox"/> 欠席理由、対応状況等を管理職に報告する。 <input type="checkbox"/> 支援チーム会議を開催する。	<input type="checkbox"/> 子供が通える場所に教職員が出向いて学校の様子を伝えたり、学習支援を行ったりするなどして、再登校に向けた準備を行う。 <input type="checkbox"/> 子供の思いを確認したあと、時差登校や別室登校など無理のない登校方法を提案する。	<input type="checkbox"/> 教育支援センターや別室登校、放課後登校や行事への参加などを本人や保護者に勧める。 <input type="checkbox"/> 無理強いせず、少し間をおいて登校や行事への参加などを再度勧める。	<input type="checkbox"/> 子供の興味に従って、散歩や買い物など、できる限り外出を勧める。 <input type="checkbox"/> 何が気になって外出できないのかを聞くなど、相談にのるとともに、家でできる活動も考える。	<input type="checkbox"/> 十分な睡眠時間や食事の確保など、生活の安定を最優先とする。 <input type="checkbox"/> 医療や福祉などの専門機関との連携を図る。		
9								□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。										
10								□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。										
11								□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。										
12								□ 不登校のリスク因子を考慮し観察を行う。										
13								役立つ資料 「子どもの安心につながる教育相談」 			役立つ資料 「始めよう!支える生徒指導」 	役立つ資料 「子どもの支援者であるすべての教師のために」 	役立つ資料 「子どもが欠席したら、どう動く?」 	役立つ資料 「長期欠席・不登校対策スタンダード(本編)」 				
14											□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。							
15											□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。							
16											□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。							
17											□ 不登校のリスク因子を考慮し観察を行う。							
18											□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。							
19											□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。							
20	□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。																	
21	□ 不登校のリスク因子を考慮し観察を行う。																	
22	□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。																	
23	□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。																	
24	□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。																	
25	□ 不登校のリスク因子を考慮し観察を行う。																	
26	□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。																	
27	□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。																	
28	□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。																	
29	□ 不登校のリスク因子を考慮し観察を行う。																	
30	□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。																	
31	□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。																	
32	□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。																	
33	□ 不登校のリスク因子を考慮し観察を行う。																	
34	□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。																	
35	□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。																	
36	□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。																	
37	□ 不登校のリスク因子を考慮し観察を行う。																	
38	□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。																	
39	□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。																	
40	□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。																	
41	□ 不登校のリスク因子を考慮し観察を行う。																	
42	□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。																	
43	□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。																	
44	□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。																	
45	□ 不登校のリスク因子を考慮し観察を行う。																	
46	□ 教育相談を行い、子供の心に寄り添って話を聴くという関わりを重ねる。																	
47	□ 挨拶、声掛け、励まし、賞賛、対話及び授業や行事等を通じた個と集団への働き掛けを行う。																	
48	□ よいところを褒めたり認めたりすることで自己肯定感を高める。																	

※1 SOSサインは、文部科学省の調査結果を基に、不登校につながる可能性が高いと考えられるものを挙げています。